

「障害」児教育推進計画

1. 目標

- ・ 「障害」児に対する正しい理解と認識を深めながら、児童の持つ可能性をひきだす。
- ・ すべての児童が互いに助け合い、共に生きようとする集団の育成に努める。

2. 学級経営方針

- ・ 児童の実態を的確に把握し、能力や特性に応じた教育を進め、可能性の伸長に努める。
- ・ 全校児童との交流を深め、よりよい人間関係を作り、集団への適応力を高める。

3. 研修内容

- ・ 児童の実態把握と指導方法及び教材教具についての研究。
- ・ 全校児童・教師との望ましい交流のあり方の検討。
- ・ 保護者・地域に対する啓発の在り方の検討。
- ・ 関係諸機関との連携について

4. 研修計画

一学期	二学期	三学期
・ 児童の実態把握 ・ 「障害」児理解推進の研修	・ 児童の実態把握 ・ 障害に応じた指導のあり方 ・ 「障害」児支援についての研修	・ 児童の実態把握 ・ 1年間の研修の成果と課題

* 人権・同和教育の年間計画に位置づけて、すべての教科・領域で実践

5. 交流学習

目的

- ・ 交流学習を通して、児童の社会性や好ましい人間関係を育てる。

交流の場		ね ら い
校 内	教科学習	・ 教師や友達の話聞き、授業に集中できる力を伸ばす。 ・ 各教科の基礎的・基本的な内容を自分のものにする。
	登下校	・ 集団登下校の約束を守り、友達と仲良く登下校する。 ・ 安全に気を付ける。
	休み時間や放課後など	・ 遊びのルールを守って、みんなと仲良く楽しむ。